

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2024年4月1日

事業ID: 2023S02278

山口県宇部市の「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルにおける子どもへの体験機会の提供(2023)

団体名: 一般社団法人 キッズラップ
代表者名: 代表理事 金子 淳子 印
TEL: 0836-22-0006
事業完了日: 2024年6月30日

■契約時

事業費総額	:	700,000 円
自己負担額	:	764,600 円
助成金額	:	700,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	1,450,660 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	750,660 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	700,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

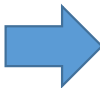
1. 事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■事業内容1

(1) 助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 東京への飛行機等を利用した旅行の実施
(1) 期間: 2024年3月
(2) 場所: 東京都
(3) 対象: 子ども10名、大人2名
(4) 内容: 飛行機、モノレール、地下鉄等交通機関を使い旅行を実施。有名な施設や風景を体感し多様な人々や文化価値観に触れることで、子ども達の視野を拡げ、描く将来像をより豊かに現実的に変化させていく。



(2) 事業完了時の事業内容(実績)

1. 東京への飛行機等を利用した旅行の実施
(1) 期間: 2024年3月27日～29日
(2) 場所: 東京都
(3) 対象: 子ども19名、大人4名
(4) 内容: 飛行機、モノレール、地下鉄等交通機関を使い旅行を実施した。有名な施設や風景を体感し多様な人々や文化価値観に触れることで、子ども達の視野を拡げ、描く将来像をより豊かに現実的に変化させていった。

(3)成功したこととその要因

事業を実施し成功したことと、その理由を記載してください。

体験の豊富さ: 子どもたちは飛行機、モノレール、地下鉄など、様々な交通機関を使用して旅行を行ったことで、新たな体験を積み重ねることができました。これにより、彼らの興味や好奇心が刺激され、学びの機会が広がりました。

有名な施設や風景の体験: 旅行中に有名な施設や風景を訪れることで、子どもたちは歴史や文化に触れる機会を得ました。これにより、彼らの知識や理解が深まり、世界に対する興味と理解が促進されました。

異なる人々や文化価値観との交流: 旅行によって、子どもたちは多様な人々との交流の機会を得ました。新しい文化や価値観に触れることで、彼らの視野が広がり、異なる視点から世界を見ることができるようになりました。

将来像の豊かな描写: これらの経験を通じて、子どもたちは将来像をより豊かに描くことができるようになりました。新しい経験や出会いが彼らの興味や目標に影響を与え、より現実的で豊かな将来を想像する力を養うことができました。

以上の要因が組み合わさり、子どもたちの成長や学びに大きな影響を与え、成功をもたらしたと考えられます。

(4)失敗したこととその要因

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。
特になし

(5)事業内容詳細

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

報告書及び東京旅のしおり添付参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 地域住民との交流の実施
(1)期間:2024年3月
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども10名、大人2名
(4)内容:地域住民との交流は生き方モデルとなるような方々との出逢いの機会を創出し自身の居住地以外の場所や地域へ興味や学習意欲を高める。



(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 地域住民との交流の実施
(1)期間:2024年3月27日～29日
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども19名、大人4名
(4)内容:地域住民との交流は生き方モデルとなるような方々との出逢いの機会を創出し自身の居住地以外の場所や地域へ興味や学習意欲を高めた。

(3)成功したこととその要因

成功した理由は、地域住民との交流を通じて、自身の生き方に影響を与えるような方々と出会う機会を積極的に創出したことでした。この交流によって、自身の居住地以外の場所や地域に対する興味や学習意欲が高まりました。具体的には、新たな人間関係や異なる文化、考え方との触れ合いを通じて、自己成長や新たな視点を得ることができました。その結果、より広い視野を持ち、豊かな人生経験を積むことができ、成功につながりました。

(4)失敗したこととその要因

特になし

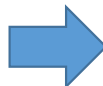
(5)事業内容詳細

報告書及び東京旅のしおり添付参照

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. 宿泊体験の実施
(1)期間:2024年3月
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども10名、大人2名
(4)内容:子ども達とスタッフが寝食を共にすることで基本的な生活習慣と生活リズムの定着を図る。生活が不規則になっている子ども達に生活サイクルの改善と健全化を図る事で登校状態の改善、登校日数増加への足がかりとする。調理、入浴、洗濯の習慣がない家庭の子ども達も多く子ども自身が生活を営むための力を身につけていく。



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. 宿泊体験の実施
(1)期間:2024年3月27日～29日
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども19名、大人4名
(4)内容:子ども達とスタッフが寝食を共にすることで基本的な生活習慣と生活リズムの定着を図る。生活が不規則になっている子ども達に生活サイクルの改善と健全化を図る事で登校状態の改善、登校日数増加への足がかりとする。調理、入浴、洗濯の習慣がない家庭の子ども達も多く子ども自身が生活を営むための力を身につけていった。

(3)成功したこととその要因

成功した理由は、子ども達とスタッフが寝食を共にすることで、基本的な生活習慣と生活リズムを確立したことにあります。この取り組みにより、生活が不規則な子ども達にとって生活サイクルが改善され、健全な生活を送る基盤が築かれました。特に、決まった時間に食事を摂る、入浴、就寝といった日常の習慣が身についていない子ども達にとっては、自立した生活を送るための力が身につけていったことが成功の鍵です。さらに、生活リズムの改善が登校状態の改善や登校日数の増加につながり、子ども達の教育や成長に良い影響をもたらしました。

(4)失敗したこととその要因

特になし

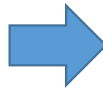
(5)事業内容詳細

報告書及び東京旅のしおり添付参照

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

4. 社会科見学訪問の実施
(1)期間:2024年3月
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども10名、大人2名
(4)内容:日本航空などを訪問し、職員の方々との交流を通して子どもが将来の夢や希望を思い描くと共に社会性を育む基盤を作る。国会議事堂やスカイツリー等の見学、ミュージカル鑑賞の機会を設け子ども達の社会性と豊かな心の育成を促す。



(2)事業内容の実施(完了)状況

4. 社会科見学訪問の実施
(1)期間:2024年3月27日～29日
(2)場所:東京都
(3)対象:子ども19名、大人4名
(4)内容:日本航空などを訪問し、職員の方々との交流を通して子どもが将来の夢や希望を思い描くと共に社会性を育む基盤を作る。キッザニア東京での職業体験や東京タワー等の見学、ミュージカル鑑賞の機会を設け子ども達の社会性と豊かな心の育成を促した。

(3)成功したこととその要因

成功した理由は、子ども達に将来の夢や希望を持たせるだけでなく、社会性を育む基盤を作るために、日本航空や三菱UFJ、三井住友銀行などを訪問し、職員の方々との交流を図ったことです。この交流を通じて、子ども達は実際の職場や社会に触れることで将来の可能性を広げるとともに、協力やコミュニケーションといった社会性を身につける機会を得ました。

また、キッザニア東京や東京タワーなどの見学やミュージカル鑑賞の機会を設けることで、子ども達の社会性や豊かな心の育成を促しました。これらの体験を通じて、子ども達は自分の属する社会や文化に対する理解が深まり、異なる価値観や視点を尊重することの重要性を学びました。その結果、より社会に貢献できる個々の人間として成長することができ、成功につながりました。

(4)失敗したこととその要因

特になし

(5)事業内容詳細

報告書及び東京旅のしおり添付参照

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の目標欄の内容を転記してください。

- 1.東京への飛行機等を利用した旅行の実施
- 2.地域住民との交流の実施
- 3.宿泊体験の実施
- 4.社会科見学訪問の実施

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	517	文字数チェック	OK
1.東京への飛行機等を利用した旅行の実施達成状況 東京への飛行機利用により、移動時間を大幅に短縮し、予定された活動を効率的に遂行でき、子どもたちの負担を減らしつつ、多くの場所を訪れることができました。このことより効率的に、子どもたちの知識に刺激を与えることができ、すべての物事に対して興味関心をもつ学びの機会となりました。 2.地域住民との交流の実施達成状況 地域住民との交流プログラムを実施し、地元の文化や風習を学ぶ機会を提供しました。子どもたちは積極的に参加し、地域とのつながりを深めることができました。 3.宿泊体験の実施達成状況 宿泊施設での体験プログラムを実施し、新しい環境での生活やコミュニケーション能力の向上を図りました。子どもたちは協力して活動に参加し、貴重な経験を積むことができました。 4.社会科見学訪問の実施達成状況 社会科見学訪問を通じて、現地での学びや体験を提供しました。子どもたちは実際の現場での学びを通じて、理論と実践を結びつけることができました。 以上の活動を通じて、子どもたちの地域交流と学びの拡充に成功しました。今後も引き続き、地域との関係性を深め、子どもたちの成長と学びを支援していきます。			

3.事業実施によって得られた成果

事業完了後、事業成果が実現するまでにある程度の時間を要する場合、実現すると見込まれる事業成果は「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」のかを記載して下さい。 複数年計画がある場合、複数年計画の「****年**月頃に*****が*****になっていることを目指す」のかを、最終目標(中長期目標)として記載して下さい。 施設や機器整備した場合、整備した数年後に見込まれる成果(例えば2年後、3年後)を設定し、「****年**月頃に*****が*****になっていると見込まれる」かを、中長期目標として記載して下さい。 飛行機を利用した旅行の実施: 東京への飛行機利用は、距離を短縮し、効率的な移動手段を提供しました。これにより、限られた時間内で多くの場所を訪れることができ、目標達成に向けた計画を遂行する上で重要な役割を果たしました。 地域住民との交流の実施: 地域住民との交流を行うことで、地元の文化や風習を学ぶ機会が得られました。これにより、目標である地域の理解やつながりを深めることができ、地域との関係性を構築する上で重要な役割を果たしました。 宿泊体験の実施: 宿泊体験を通じて、子どもたちは新しい環境での生活やコミュニケーション能力の向上を図ることができました。また、宿泊施設内での活動やプログラムに参加することで、目標に沿った学びや体験を深めることができました。 社会科見学訪問の実施: 社会科見学訪問を通じて、子どもたちは現地での学びや体験を通じて目標に関連する知識や理解を深めることができました。実際の現場での学びは、理論だけでは得られない実践的な知識を提供し、目標達成に向けた学びを促進しました。 これらの要因が組み合わさり、目標達成に向けた取り組みが成功したと考えられます。それぞれの活動が目標達成に必要な要素を補完し合い、総合的な成果を生み出したと言えます。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。
完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。
※チラシ、ポスター等の印刷物については
作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。
報告書及び東京旅のしおり



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf（なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。）

上記で登録したURLをご記載ください。